

**運 営 協 議 会 だ よ り**

第8号

代表 西澤 輝信 校園長 加藤 雄一

第8回地域協働学校運営協議会が開催されましたので、議事の概要をご報告します。

■日 時 令和5年1月24日 16:30～17:40

■場 所 落合第六小学校 図書室

■司 会 副校長

【教員からの低学年の取り組みについて】

- ・1年生の担当教員から、23日実施した昔あそびの授業について、お礼の言葉がありました。1年生は元気で何にでも興味を持ち、どんなことにも挑戦する子どもたちで、初めての書き初めも一生懸命取り組んでいたようです。教員以外の大人に触れ合うことは、子どもたちにとって大切な時間だと思いますので、今後どうぞよろしく願いいたしますとのことでした。
- ・2年生の担当教員から、町たんけんとして西落合の昔の様子をお話いただいたり、展覧会では段ボールの回収業者をご紹介いただいたり、ご協力のお礼の言葉がありました。
- ・4年生の担当教員からとして、おちろくDASHで苔玉作りを実施予定ですが、どなたか苔玉を作れる方をご存知でしたらご紹介くださいとのことでした。以前、地域センターで出展していた団体があったようなので、お伝えしました。

【代表挨拶】

私事ですがコロナ感染により、発熱や今までに経験したことのない喉の痛みで大変な年始でした。食塩水による鼻うがいと症状が改善したので、もしもの時の選択肢の1つに情報提供でした。

【校長挨拶】

今月も残りわずか、もう2月となりますが、3学期は本当に短く感じます。事故や怪我も無く、子どもたちは元気に登校しています。コロナ禍ではありますが、3月にはオープンスクールを開催予定です。子どもたちにとって、発表して褒めてもらうことは大切なことですので、感染の状況次第にはなりますが保護者・地域の皆さんにもお越しいただければと考えています。来年度、落合第六小学校は65周年を迎えますので、引き続きご協力どうぞよろしく願いいたします。

【地域協働学校運営協議会の活動について】

- ・展覧会の時に同時開催した「空間ワークショップ」では、中野区建築協会の皆様のご協力で、5・6年生10グループに分かれて楽しく実施することができました。曇り空の下ではありましたが校庭で広々と作品作りができ良かったです。基本的な作り方を聞いた後は、子どもたちが自由に組み立てていき、最後には壊す、それも芸術だと感じました。10年以上続いている取り組みなので、今後も継続できればと思います。
- ・展覧会の体育館での子どもたち作品は、どれも個性的で現代アートのように図工教員の指導力を感じました。体育館全体が素晴らしい飾りつけになっていて、見応えがありました。開催時間が夜までであったので、保護者の方にとっても良かったと思います。
- ・昔あそびでは、1・2年生がおはじき・こま・けん玉など昔懐かしいおもちゃで遊ぶことができました。今、子どもたちは面倒なことが苦手なお子さんもいるが、おもちゃでも練習したらできるようになるということが、自己肯定感をあげることに繋がるのではないかと感じました。成功体験で「できた」と感じる大切だと思いました。

【次回の予定】 令和5年2月14日(火) 17:00～

【出席者】

西澤 輝信、近藤 弘文、原田 榮、橋田 稔、亀井 治子、篠田 邦子、
浅野 祐介(落合第二特別出張所所長)、
木村 小枝子(教育支援課)、加藤 雄一、村上 珠子、水上 真理(書記兼務)、